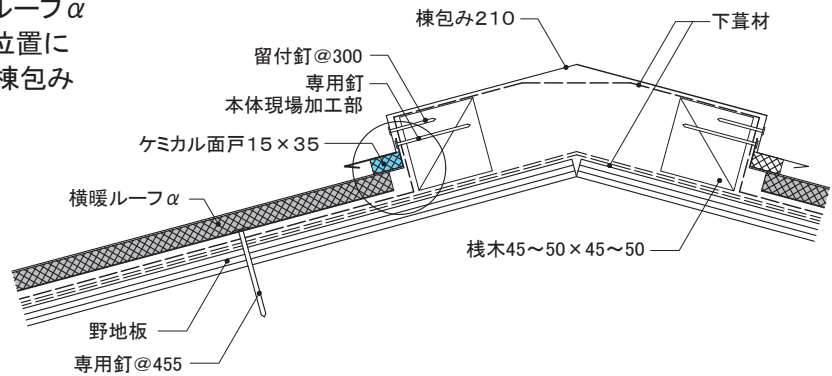


7) 隅棟部

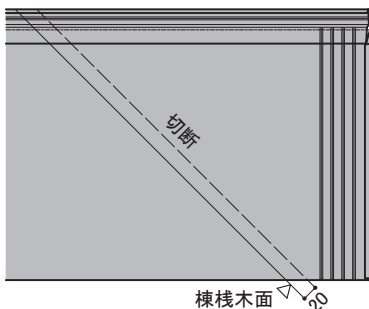
① 棟包み210

- 野地板の上に、下葺材を張ります。
- 桧木45～50mm×45～50mmを外側2ヶ所に取り付け、桧木を包むように下葺材を増し張りします。
- ※棟包み210に乗らないでください。工具・部材も置かないでください。棟包み210が変形するおそれがあります。
- 隅棟部は図のように加工した横暖ルーフα  
本体を垂木に施工し、本体の図の位置に  
ケミカル面戸15×35を貼り付け、棟包み  
210をかぶせます。  
棟包み210は、留付釘(ステンレス  
スクリュー釘長さ32mm以上)  
を用いて、300mm以下の間隔で  
桧木に留め付けます。
- 剣先は下図のように施工します。

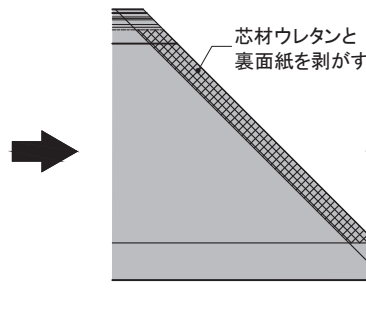


■施工ポイント・本現場加工図

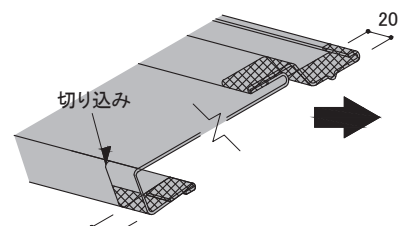
- 横暖ルーフα 本体の隅棟部分は図のように加工します。



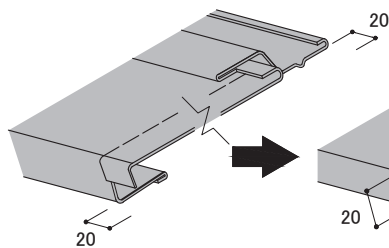
- ① 棟桧木面から図の寸法で切断します。



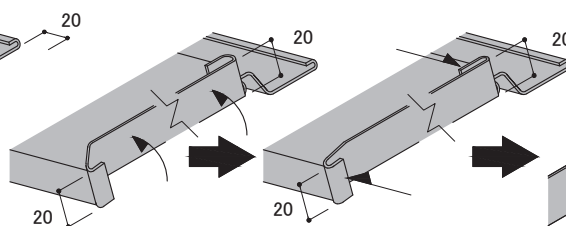
- ② 端部から30mmの位置まで芯材のウレタンと裏面紙を剥がします。



- ③ 網掛け部分を切り落とします。

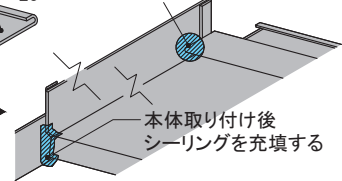


- ④ 切り込みを入れた部分から垂直に起こします。



- ⑤ Rの部分をつぶします。

次の横暖ルーフα本体の  
取り付け前にシーリング  
を充填する



- ⑥ 接合部から雨水の浸入を防ぐため  
シーリングを充填します。

■剣先の取り付け

- 隅棟に棟包み210を使用する  
場合は、剣先210を図のように  
施工します。

